

時代小説というエンターテインメントをテーマから楽しむ。

あなたの1冊に出会えるかも？

6月ラインナップ

テーマ	書籍名	著者	読書ナビ
忍者	梟の城	司馬遼太郎	戦後の忍者大ブームの先鞭の作品
	忍者丹波大介	池波正太郎	忍者小説の最高傑作、これを読まずして死ぬるか
	忍びの旗 前・後		非情な忍者の世界を舞台にしながらも、任務と人間の情の相克に直面した忍者の苦悩を描く。
	服部半蔵	戸部新十郎	忍びの技を芸術にとらえ、世界認識を示した作品。
	忍者からず	柴田錬三郎	鴉一族が由井正雪、国定忠治らを裏で操ったとする、荒唐無稽な話
	産霊山秘録	半村 良	超能力を用い、皇室の危機を救うヒ族一族の数百年の歴史を描く
	くノ一忍法帖、忍者月影抄	山田風太郎	山田風太郎の忍法ここに見参
	江戸忍法帖		
	伊賀忍法帖		
	忍法忠臣蔵		
	忍法八犬伝		
	忍法封印いま破る		
	海鳴り忍法帖		
	柳生十兵衛死す 上・下		柳生十兵衛シリーズの傑作
	柳生忍法帖 上・下		
	魔界転生 上・下		
剣豪	その男 上・下	池波正太郎	激動の幕末を生き抜いた剣士・杉虎之助の生涯を描く。
	影武者徳川家康 上・下	隆慶一郎	幕府の命を受けた柳生一門の陰謀と謀略の歴史を描く
	薩南示現流	津本 陽	剣の有段者でなければ書きえない剣の型へのこだわりで独自の世界を作り上げた作品
	隠し剣孤影抄	藤沢周平	隠し剣シリーズ
恋愛	運命峠 上・下	柴田錬三郎	豊臣秀頼の遺児を守り育てる孤独な剣客。秋月六郎太の波瀾万丈の大伝奇小説
	恋い忘れ草	北原亜以子	江戸の女たちは、恋と仕事の狭間でどのように選択したか
ホラー	ぼっけえ、きょうてえ	岩井志麻子	第4回日本ホラー大賞を受賞
	新撰組魔道剣	火坂雅志	幕末の人切り集団・新撰組と京都の魔との軋轢を描く
都市	明暦火災秘図	堀和久	百年の計のもと、新しい江戸城下をつくるため、江戸全土を焼き払う一世に“振り袖火事”といわれる明暦の大火は、仕組まれたものだった。
	御町見役うずら伝衛門 上・下	東郷隆	巨大都市、江戸の一角に現れた、虚構の街を活写した作品。
ビジネス	小説 上杉鷹山	童門冬二	民を思い、組織を思い、国を思った稀有の人物・上杉鷹山。九州の小藩からわずか十七歳で上杉家の養子に入り、米沢藩の財政を建て直した名君の感動の生涯。
	ずっこけ侍	小松重男	50歳の坂を過ぎ武士、三浦欄次郎がいきなり主君から暇を出され浪人となった、ユーモラスな人生航路を描く。

宮本武蔵	宮本武蔵 1～5	笹沢佐保	佐々木小次郎に勝利しながらも、自らの技量には満足せずに、さらに奥深く、求道の旅を続ける武蔵の真摯な姿を描く。
	よじょう	山本周五郎	熊本城の城下町、細川藩につかえた晩年の武蔵に起こる騒動の物語
	宮本武蔵	津本 陽	天正12年美作国に生れる。幼名弁之助。幼少より武術に頭角をあらわし、激しくきびしい修行に熱中した。13歳で香取神道流有馬喜兵衛を撃殺。以来六十余度の真剣勝負。特に青春期は血なまぐさい他流試合にあげくれた。
	秘伝 宮本武蔵	光瀬竜	
	二人の武蔵	五味康祐	武蔵複数説の話
	宮本武蔵 1～5	吉川英治	挫折の中から人生がはじまり、人間形成をしていく、理屈ではなく、体験に裏打ちされた形で人生を教えてくれる。悩み多き人間としての武蔵を描く。
	佐々木小次郎 上・下	村上元三	家柄が物をいわず、己れ一人の実力が頼れる世界に出たい―小太刀の名人に養育された孤児佐々木小次郎は、一剣に野望を賭け、恋人を捨て、故郷を捨てた。やがて、飛燕二羽を斬り落とす秘剣つばめ返しを会得。
	決闘者・宮本武蔵	柴田錬三郎	当主清十郎を失い、さらにその弟伝七郎をも斃された吉岡道場は、一門を挙げて一乗寺下り松での決闘を武蔵に申し入れた。七十余人を敵に回して阿修羅と化した武蔵は、それに勝利をおさめた。再び流浪の旅に出る。
	拳豪 宮本武蔵	火坂雅志	関ヶ原で敗れ、小次郎に打ち勝った武蔵は剣を捨てた! 大阪冬の陣が明日にも始まる激動の中で、丸腰の武蔵はいかに…。
遊郭	吉原御免状	隆慶一郎	吉原の成立及び街の構造などの謎を抱き、網野善彦など新しい歴史学者の研究成果から発想を得て書かれた画期的な伝奇ロマン。
	かくれ里苦界行		徳川家康より与えられた「神君御免状」をめぐる裏柳生との争いに勝ち、松永誠一郎は色里・吉原の惣名主となった。だが、一度は敗れながら、なお執拗に御免状を狙う裏柳生の総帥・柳生義仙の邪剣が再び誠一郎に迫る。
	将監さまの細みち		病身の夫のため岡場所に身を沈めた女と女を救おうとする幼馴染の関係が切なく描かれる
	柳橋おせん	山手樹一郎	遊女の機転によって危機を脱した男が、再び生きる希望を見出すという、遊女の聖性を見事に描き出した作品。
股旅	国定忠治	子母沢寛	赤城の山も今宵限り」でおなじみの任侠ヒーロー国定忠治。上州名物の「空っ風」が吹き荒れる中を股旅者が今日も行く…。
	次郎長三国志	村上元三	暴れん坊できられ者の若き日の次郎長―だが人の上に立つ器量があった! 桶屋の鬼吉、関東綱五郎、大政、法印の大五郎、相撲常、森の石松、小政らが次々と子分となっていく、次郎長親分を売り出した名作。
	無宿人別帳	松本清張	「無宿人」であるという理由だけで世の中の人々から危険視されていた人たちのどうしようもない悲しみや怒りを描いた作品。
	からくり乱れ蝶	諸田玲子	次郎長の女房お蝶を主人公にし、男の世界であった股旅ものの世界に女の視点を持ち込んだ画期的な作品
	空っ風		次郎長の子分、小政の半生を描く
	八州廻り桑山十兵衛	佐藤雅美	小役人の悲哀を描く
ビジュアル系	大江戸役人役職読本		時代劇・時代小説でおなじみの江戸社会の舞台裏―奉行所与力から御庭番、縁切り寺役人まで、江戸幕府をささえた役人・役職をわかりやすい読み物形式で完全解説。
	大江戸捕物帳		遠山金四郎は本当に彫り物を入れていたの? 大岡越前守が本当に解決した事件は何? 時代劇や捕物帳をもっと楽しむために、江戸の司法制度や捕物帳のヒーローたちを図版・写真で紹介する。
	歴史・時代小説事典		すぐれた大衆文学研究家として幾多の業績を残した故尾崎秀樹氏が畢生の事業として自ら主催する大衆文学研究会を動員して製作にあたった、現在唯一の歴史・時代小説の本格的事典。
	時代劇が六倍楽しめる大江戸「伝馬町」ヒストリー		時代劇・時代小説の舞台と、暮らしぶりがわかる。「東京」の起点、江戸の始まりがよくわかる。家康が急成長させた、都市の物流と情報のしくみがわかる。目利き商人たちの商売っぷりが生き生きと描かれている。
	誰も知らない日本史の真実		大岡越前、水戸黄門。鼠小僧に岡っ引…時代劇の常識は歴史の非常識。豊富な図解と解説で歴史の仮面を一刀両断。江戸の生活裏事情からおかしな大名・お殿様まで、時代劇には映らない素顔の日本史ここにあり。
	ちょんまげだけが人生さ		時代劇エッセイスト、ペリー荻野が、みずからの半生を兼ねつつ一九六〇年代から現在までのちょんまげものを振り返る。